

学校法人 東放学園
専門学校東京アナウンス学院殿

2021年度 学校関係者評価委員会報告書

専門学校東京アナウンス学院
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員

【関連業界】

山崎 譲 株式会社円企画相談役

【卒業生】

増田 ゆき 株式会社マウスプロモーション

【高校教員】

早川 信一 昭和第一高等学校 入試広報室 教諭

【地域住民】

横倉 正志 一般社団法人社会資源再生機構理事長

【保護者】

和田 しのぶ 放送声優科1年生保護者

2. 事務局

船場 吉行 専門学校東京アナウンス学院 校長

川田 泰弘 専門学校東京アナウンス学院 教務教育部 部長

大橋 真由美 専門学校東京アナウンス学院 学務管理部 部長

上野 浩一郎 専門学校東京アナウンス学院 学務管理部 学校評価委員

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

新型コロナウイルス感染の状況から、昨年度に引き続き、対面での委員会実施を見送った。
委員全員に2020年度自己評価報告書をはじめとする資料を郵送することで、個別に評価を求め、
各項目ごとに全員の評価を比較して、総合評定を決定することとした。

4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

学校関係者評価結果

【評定の内容】

- 4:適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 3:ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
 2:対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
 1:全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

I. 2020年度重点目標について

重点目標1.続・新規ターゲット層の開拓(守備範囲の拡大)

コメント	評定
多様化する学生のニーズに応えようとする意欲がみとめられる。ネット配信授業の比率をもっと高めていきたい。	4

重点目標2.ネット配信に関する人材育成と学科設置の検討

コメント	評定
ネット配信の科目をさらに重視していきたい。今般のコロナ禍の状況を踏まえ、安全・安心な新しい授業の仕組みやエンターテインメント教育の在り方を考え示すことが重要である。	4

重点目標3.表現系授業科目の成績評価方法の再構築

コメント	評定
表現系授業の評価方法は、より細分化できれば生徒に分かりやすい指標になると思う。また、実施後の成果を発表しあって、成果を確認し、課題を見つけていく必要がある。実施後の成果を発表しあって、成果を確認し、課題を見つけていく必要がある。	3

重点目標4.中途退学率の低減

コメント	評定
クラスアドバイザーを置くことにより、分からない事を分からないままにせず、メール等でも相談できるため、ちょっとした疑問につまずく事なく進んでいけるので、中途退学の低減になっていると思う。年々不安定になっていく生徒の心のケアは重要課題として継続してほしい。	4

重点目標5.進路決定率の向上

コメント	評定
進路決定率の向上は、専門学校の実用性として、継続して重点的に取り組んでいくべき課題である。	4

重点目標6.安全に配慮した新たな授業の取り組み

コメント	評定
対面授業では、常に安心・安全な工夫と取り組みを希望するとともに、ネット配信の科目も増やしていきたい。	4

II. 評価項目別取組状況について

基準1 教育理念・目的・育成人材像

コメント	評定
学園の理念とそれに基づく教育方針を教育活動の根幹としており、教育に対する姿勢が一貫している。今の時代に必要とされる人材を育成するため、業界関係者の協力も仰ぎ、実践を重視した教育を行っている。学校側が理想とする人材と実際入学してきた学生との意識のギャップを可視化して、現時点での到達度を把握し、学生に対して達成目標を示すべきである。最後に成績とは別に到達度評価を行うと良いと考える。	4

基準2 学校運営

コメント	評定
運営方針を明確化して学内に周知し、堅実に取り組んでいると思う。人材の確保と育成が行われ、先見した運営がされている。	4

基準3 教育活動

コメント	総合評価
授業評価アンケートの結果を参照するなど、授業改善に取り組む姿勢があり、課題の把握はできているが、問題、課題等の解決への取組みも強化していく必要がある。現場の体験をもっと積ませるべきである。また、履修人数定員のある選択科目を一人でも多く履修できるよう、さらなる改善が望まれる。 同窓会組織の構築と活性化で、学生達との繋がりを強化し、人脈の大切さを感じさせる。	3

基準4 学修成果

コメント	総合評価
芸能分野のデビューを目指す学生と一般企業に就職希望の学生、それぞれに合わせて進路支援しており、進路の質の向上にも努めている。卒業生の情報収集は、個人情報保護法により難しいと思うが、在校生の励みにもなるので継続してほしい。卒業生の社会的評価を把握後は、本校生に不足していると思われる部分を学業で強化するべきである。	3

基準5 学生支援

コメント	総合評価
学生が相談しやすい環境を整えており、進路指導をはじめ、学生の相談にはカウンセラーと連携するなどして、中途退学率の低減にも取り組んでいる。全体的に手厚い支援が行われているが、特にメンタルヘルスについてはさらに繊細なケアをしてほしい。退学理由の詳細な分析と、特に経済的理由での退学への対策をさらに改善していきたい。	4

基準6 教育環境

コメント	総合評価
学校の機材・設備は計画的に更新されており、教育上の環境は十分整備されている。また校舎の耐震工事も完了し、法令に従って備蓄品を確保するなど、防災に対する意識も高い。ただし履修した科目により、授業の際の移動に時間がかかることがあるようである。	4

基準7 学生の募集と受入れ

コメント	総合評価
入学希望者や高等学校等に対し必要な情報提供が行われている。募集活動は積極的かつ時期等は適切に行われていると評価でき、入学者は規程に則って適正に選考していると認められる。2021年度の入学者に対しては、コロナ禍ではあったが適切な対応で学校訪問もでき、きちんと理解できるまで質問時間もとってもらえたので、安心して出願できた。	4

基準8 財務

コメント	総合評価
借入金、長期未払金はなく適正な財産管理のもとで、健全な財務状況にあると考えられる。また、収支については、法人のホームページ上でわかりやすく公開されている。	4

基準9 法令等の遵守

コメント	総合評価
評価と見直しを行う部署や委員会を明確し、法令の変更などに応じて、学則、各業務規程を適宜整備するなど、法令遵守には組織的に取り組んでいる。情報公開については、ホームページ、冊子ともに充実した内容である。	4

基準10 社会貢献・地域貢献

コメント	総合評価
中高生の職業教育の受け入れを行ったり、中野区などと協力して、イベントやボランティア活動で地域との交流を継続しているのは良いことであり、多くの学生に参加してほしい。学生の学んでいる事が活かせるような現場、例えば高校の文化祭、地域のイベントスタッフ等の積極的な派遣を行い、イベント主催者や担当者との人脈を構築し、学生の進路や学校の知名度向上にも活かしていきたい。また、環境の変化・多様化を視野に入れた発想も必要と考えられる。国際交流に関する取り組みがやや少なく、留学生の進路もさらに充実させることが課題である。	3

5. 所感

今年度の委員会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、昨年度と同様に対面方式での開催を見送り、郵送での評価・コメント提出となった。全体的に忌憚のない評価・提案等があり、前回にもまして充実した内容であったと考える。新任の増田・和田両委員は本委員会の趣旨・目的を良く理解されており、卒業生・在校生保護者というそれぞれの立場から積極的に貴重な意見を述べていただいた。
--